

平成30年度 総務常任委員会意見交換会報告書

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 平成30年10月5日（金）午後3時40分～午後5時 |
| 開催場所 | 埼玉県立富士見高等学校 社会科室 |
| テーマ | 主権者教育について |
| 出席議員 | 田中栄志委員長 今成優太副委員長 吉原孝好委員 勝山 祥委員 尾崎孝好委員 篠田 剛委員 川畑勝弘委員 |
| 参加人数 | 参加者12人（団体名 埼玉県立富士見高等学校生徒会） |
| 実施内容 | <p>① 議長挨拶 尾崎孝好議長</p> <p>② 自己紹介 出席議員</p> <p>③ 議会説明 田中栄志委員長</p> <p>④ 生徒とグループごとの意見交換 全体テーマ 富士見市（住んでいるまち）の良い点・悪い点から、 「こんなまちに住んでみたい」を考える 個別テーマ ・通学事情について ・子ども医療について（18歳まで無料化） ・就職について</p> <p>⑤ 各グループの発表</p> <p>⑥ 講評 富士見高等学校 辻本秀樹教頭</p> <p>⑦ 閉会挨拶 田中栄志委員長</p> <p>議会事務局 本多事務局長、秦主任 選挙管理委員会 下田書記長、大塚書記 富士見高等学校 教員2名</p> |

「通学事情について」

●富士見高校生徒の意見

1. 通学について感じていること

- ・道がガタガタしているところがある。
- ・バスの本数が少ない。
- ・信号機が古くて見にくい。
- ・道幅、歩道が狭いため、車とぶつかりそうになる時がある。
- ・歩道が狭い為、車道を通る雪で道路と田畑の境目がわからなくなり危険に感じる。
- ・堤防の上を自転車で走っていて、木や葉っぱが多くて通りづらいところがある。
- ・バスの回数券の枚数が少ないので、学生の回数券を少し増やす。
- ・橋の歩道の段差が急で怖い。
- ・車がスピードを落とさないのが危ない。
- ・見通しが悪いところがある。
- ・自転車も車も信号無視が多い。

2. より良いまちにするにはどうすれば良いか

- ・古い信号機は新しい物と交換する。
- ・自転車免許制を導入する。
- ・危険な箇所に、警察や交通ボランティアを配置する。
- ・歩行者と自転車の通行帯を分ける。
- ・道路と田畑の境目にガードレールや柵をつける。
- ・川の上（堤防）を広くする。
- ・歩行者、自転車用の地下道路を建設する。
- ・見通しが悪い箇所には、カーブミラーを設置する。
- ・バスを登下校時間帯に増便する。

●まとめ

最初に通学方法を尋ねたことで、多くの意見を聞くことができた。富士見高校の場所柄、自転車やバスを利用している生徒が多く、道路状況などについて多くの意見を聞くことができた。どのようにしていけば良いかとの問いかけに対し、斬新なアイデアを示してくれる生徒がおり、意義深い時間となった。

「こども医療について（18歳まで無料化）」

●富士見高校生徒の意見

1. 導入した場合の良い点

- ・医療費が無料なので、通院しやすくなる。
- ・経済的な格差なく医療を受けられる。

2. 18歳まで無料化が導入できない理由

- ・市の財政的な負担が大きいため。
- ・高校生はバイト等で金銭的余裕があると認識しているため。
- ・社会人として、自分の体調管理に責任を持たせるため。

3. 問題解決、導入を実現するには

- ・町おこしを行い、人口を増やし、税金を増やす。
- ・消費税を増やす。
- ・議員定数を減らし、財源を確保する。
- ・住む場所を変える。

●まとめ

こども医療費制度（18歳まで無料化）という課題の為、高校生にも関心が大きいテーマであったと感じた。

無料化される事のメリットを理解しつつも、導入できない理由として、財政的な負担や社会人としての体調管理に責任を持たせるためなど、私達とは違った視点からの意見も頂戴でき、非常に参考になった。

いずれにしても全国的に課題となっている、こども医療費の在り方について改めて議論と研究が必要であると感じた。

「就職について」

●富士見高校生徒の意見

1. 就職について思うことや感じていること

- ・情報量が少ない。
- ・就職活動の時期が大学生と同時期に始まらない。
- ・大学生は企業を複数受けられるが、高校生は1つしか受けられないのは不利である。
- ・女子生徒の採用人数枠が不利である。
- ・2020年にオリンピックパラリンピック開催の影響で就職率が心配である。
- ・企業に人工知能のAIの導入が進み就職に影響するか心配である。
- ・有名企業が少ない。
- ・正社員を採用している企業が少ない。
- ・大学進学予定なので今は具体的に考えていない。
- ・まだ1年生なので検討している。
- ・生きていくための一つの手段である。

2. 富士見市内や居住地と都内などどちらで働きたいと思うか

- ・富士見市内で働きたい。今過ごしている場所で安心して働ける。土地勘がある。
- ・埼玉県内を考えている。
- ・条件が良い都内を考えている。都内のほうが視野が広がる。

3. 富士見市など現在の居住地に住みたいかそう思う理由

- 環境が良い。
- なれ親しんでいる。
- 富士見市で親が住んでいるから近くが良い。
- 職場から近いことを優先し今のところにはこだわらない。

●まとめ

就職について高校生と大学生の就職活動の状況が違ふことや思うことなどを直接聞くことができた。

富士見市内あるいは現在住んでいる近くで就職を希望するものの、特に富士見市においてはその受け皿がないという声もあり、改めて今後の課題と考える。

<全体のまとめ>

今回の意見交換会は、「主権者教育」をテーマに高校生と議員が意見交換をする初めての試みとなった。そのため、実施に当たり委員会として所管事務調査（行政視察）として先進自治体にて、主権者教育や高校生との意見交換会のあり方等について事前に調査を行った。また、富士見高校との事前協議も複数回設け、先方の意向も反映する意見交換会となるよう対応した。

グループごとの意見交換では、生徒側からは住んでいる地域の魅力や良さを感じて、これからも住み続けたいとの意見もあった。さらに市政や市議会に関心を持ったり、議員のイメージが良い意味で変わったりしたかもしれない。一方、議員側においては、今後もこうした声に応えるまちづくりを進めていくことが求められる。

こうしたことから、双方ともに意見交換会の継続について前向きに検討する方向である。

以上

※この記録は、意見交換会での発言をまとめたものです。

発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。